

映画とワークショップ

8/25

土

アンネの日記 第三章

閉ざされた世界の扉

ナチス占領下ー
隠れ家で綴られた「アンネの日記」

そして新たに発見された
父オットーの書簡

今更だが明らかになる

監督：ポーラ・フォース | 脚本：ミカエル・フローレス、ポーラ・フォース | 出演：レナード・バーニー、パディ・エリヤス、エバ・シュロスほか
制作：パラダイスフィルムワークスインターナショナル | 協力：イヴオ・ユダヤ調査研究所 | 2015年 アメリカ | 日本語字幕 75分 | 原題：No Asylum | 字幕：Kokoro

日時

2018年8月25日(土) 1回目:午前10時～午後12時 2回目:午後2時～4時 (30分前開場)

会場

富士国際旅行社 東京都新宿区新宿2丁目1-7第33宮庭ビル4F

プログラム

映画「アンネの日記 第三章」上映(75分)と写真を使ったワークショップ

参加費

1,000円 (当日会場でお支払いください)

申込

HPからお願いします <https://www.npokokoro.com/20180825>

主催

NPO 法人ホロコースト教育資料センター(Kokoro)、富士国際旅行社



※強制収容所の解放直後の
映像が作品中に含まれて
います。

この上映会に関するお問い合わせは、下記までお願いします

☎ 03-3357-3377(富士国際旅行社) ✉ info@npokokoro.com(Kokoro)

NPO 法人ホロコースト教育資料センター(Kokoro)は、すべての人の命と人権を尊重する寛容な社会をつくりたいという願いのもと、ホロコースト史を教材とした教育活動を行っています。20 周年記念のイベントとして映画上映会とワークショップを行います。ご参加を心よりお待ちしております。
(申込が必要です。表面をご覧ください)



第1部 | 映画「アンネの日記 第三章～閉ざされた世界の扉」 (75 分)



「どうか娘たちだけでも・・・」

ニューヨークのアーカイブで、アンネ・フランクの父オットーの書簡が発見された。それは、迫害から逃れるために、米国移住の道を必死に模索していたオットーの涙ぐましい努力を伝えるものだった。「どうか娘たちだけでも」オットーは友人を頼って、窮状を訴え続けた。しかし叶わず、オットーは家族と隠れ家に潜伏する。1944 年夏、隠れ家は発覚。アンネはアウシュヴィッツを経て、ベルゲン・ベルゼン収容所に送られ死亡した。本作品は、アンネの家族でただ一人生き延びた父オットーらの証言や貴重な歴史映像を通して、ホロコーストの実態とユダヤ難民に扉を閉ざした世界の無関心を浮かび上がらせる。

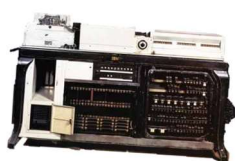
アンネ・フランクと
無数の難民を追い詰めたのは
世界の無関心だった

第2部 | ワークショップ「ホロコーストはなぜ起きたのか」 (30 分)

写真を使って、対話と思考を深めるワークショップを行います。ホロコーストの歴史を伝える写真を選択し、組み立てながら、グループ毎に「物語」を作ってみます。ホロコーストはなぜ起きたのか、日本で学ぶ意義は？ ひとつの歴史が異なる様々な視点から見えてきます。

ホロコーストとは：

第二次世界大戦時、ナチ・ドイツ及びその占領下のヨーロッパで起きた虐殺。「ユダヤ人」という理由で約 600 万人が殺された。そのうち約 150 万人は子どもだった。障害者やロマの人々も犠牲となる。



アウシュヴィッツへ旅してみませんか 2018 年 12/23(日)～30 日(日) 8 日間

NPO 法人ホロコースト教育資料センター(Kokoro)20 周年記念スタディツアーのご案内

アウシュヴィッツ、テレジン、プラハを訪ねるスタディツアーを実施します。歴史の現場に立ち、日本を、世界を、一緒に考えてみませんか。詳しくはホームページをご覧ください。

<https://www.npokokoro.com/>

今後の上映会スケジュール

- 9/20(木) 「ハンナのかばん」
- 9/29(土) 「イレナ・センドレローヴァ物語」
- 10/27(金) 「ハイドリヒを撃て」